

令和7年度

伊勢崎市立坂東小学校



学校通信

ばんどうたろう

坂東太郎



第 20号

令和7年10月17日(金)発行

校長 関根 崇史

児童のみなさんへ～いよいよ明日、運動会。こんな運動会に…

〈運動会スローガン〉

笑顔で楽しむ運動会～みんなで作ろう最高の思い出～



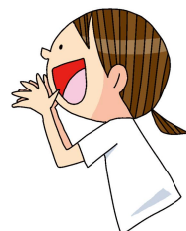
明日がいよいよ運動会の本番です。これまでみなさんがこの日のために、一生懸命がんばっている姿をたくさん見てきました。そして、先生たちも最高の運動会にするために、みなさんと一緒にがんばってきました。練習を見ているだけで、その真剣さや迫力に感動して、涙が出そうになることもありました。今まで努力してきたことは、素晴らしい形に仕上がってきていますので、明日は自信をもって、そのすべてを出し切ってください。そうすれば、自分自身も、周りの仲間も、先生たちも、見に来てくれるたくさんの方々も、みんなが感動できる運動会になるはずです。

スローガンの通り、たくさん笑顔であふれ、一人一人にとって最高の思い出となる運動会にするために、校長先生から二つお願いをします。

①運動会を心から楽しもう

学年を超えて団をつくり、学校全体で取り組む行事は運動会だけです。みんなで一つの行事をつくりあげることを楽しみましょう。一緒にがんばる仲間たちを全力で応援することを楽しみましょう。そして何より、自分が参加する競技や表現を楽しみましょう。

ただし、ここでいう「楽しむ」というのは、ただ「面白い」「おかしい」ということではありません。運動会では、真剣に、全力で取り組んだときに生まれる「本当の楽しさ」を感じてほしいと思っています。心が震えるような感動、がんばれたという満足感や充実感を得ることができる運動会にしたいと思います。



②人と自分を比べず、自分のベストをつくそう

「運動が大好き」という人もいれば、「運動は苦手」という人もいます。運動会では、順位が出る競技もあります。そこにばかり気を取られ、人と自分を比べてしまうと、楽しいはずの運動会が苦しいもの、つらいものになってしまいます。



一番大切なことは「自分のもっている力を出し切れたか」ということです。人は「全力を出し切る」ことができると、必ず一步成長します。そして、次の新しい可能性が見えてきて、もっとがんばれる自分になれる。ですから、人と自分を比べる必要はありません。自分の中のベストをつくすことに集中して競技や表現に取り組んでみてください。運動会が終わったときに、「今日は疲れた。でも楽しかった。すべての力を出し切ってがんばれた!」と思えば100点満点です。

【保護者や地域の皆様へ】

子供たちは、ここまで本当によく頑張ってきました。運動会では、成長した姿、格好いい姿をたくさん見せてくれるはずです。そんな子供たちを全力で応援してあげてください。頑張っている姿が見られたら、声をかけて、思い切りほめてあげてください。それが、子供たちのさらなる成長へとつながっていきます。

保護者の皆様、今晚はしっかりとした食事と十分な睡眠を取らせ、お子さんが万全な状態で明日の運動会を迎えられるようにお願いします。